

第3章

アンケート調査からみた本庄市の現状

第3章 アンケート調査からみた本庄市の現状

第1節 調査の概要

(1) 調査の目的

本計画を策定するにあたって、「本庄市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査」を実施しました。この調査は、確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するための基礎資料とするとともに、本市における子育て環境の変化や、市民が求める取り組み等を把握することで、より効果的な子育て支援策を検討することを目的とするものです。

また、市内で活動する子育て支援団体・事業者等を対象とする「本庄市子育て環境の向上に関するアンケート（団体調査）」も実施しています。「第2期本庄市子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）策定のための基礎資料として、子どもやその保護者に接することの多い関係団体や機関を対象に、日頃接している子どもや保護者の様子や地域・行政に求める役割などを把握することを目的とするものです。

なお、調査結果に示されている比率は、すべて百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。したがって合計が100%を上下する場合があります。

(2) 調査の実施概要

調査対象と調査方法、回収結果については以下に示すとおり。

■市民を対象とする調査の実施概要■

| 調査種別 | 就学前児童 | 小学生 | 団体 |
|-------|-----------------------|---------------------|---------------------|
| 調査対象 | 市内に居住する 就学前児童のいる世帯 | 市内に居住する 小学生のいる世帯 | 市内で活動する子育て支援団体・事業者等 |
| 抽出法 | 無作為抽出 | 無作為抽出 | — |
| 調査方法 | 郵送法 | 郵送法 | メール／郵送／手渡しによる配付・回収 |
| 調査時期 | 平成31年2月 | 平成31年2月 | 平成31年2月 |
| 調査地域 | 本庄市全域 | 本庄市全域 | 本庄市全域 |
| 配布数 | 1,300票 | 1,200票 | 80票 |
| 有効回収数 | 713票 | 680票 | 61票 |
| 有効回収率 | 54.8% | 56.7% | 76.3% |

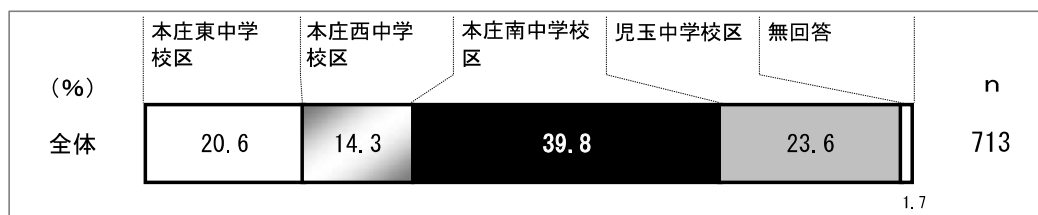
第2節 市民対象調査の結果（概要）

（1）就学前児童

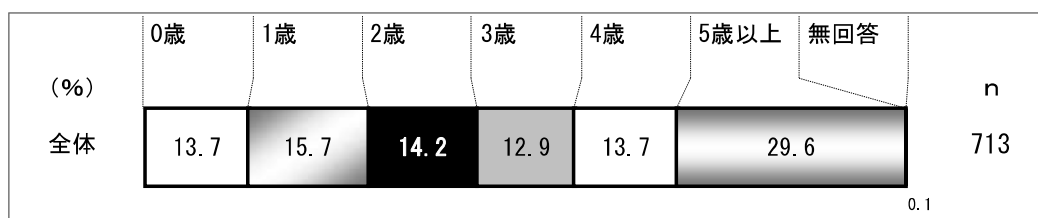
1. 回答者の属性

回答者の主な属性は以下のとおり。「本庄南中学校区」に居住する回答者が多くなっています。

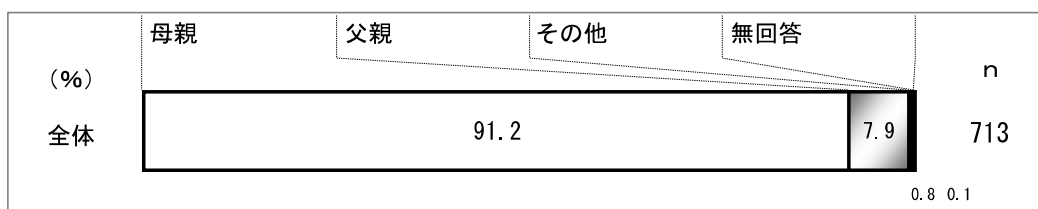
■回答者の居住地区（中学校区）■



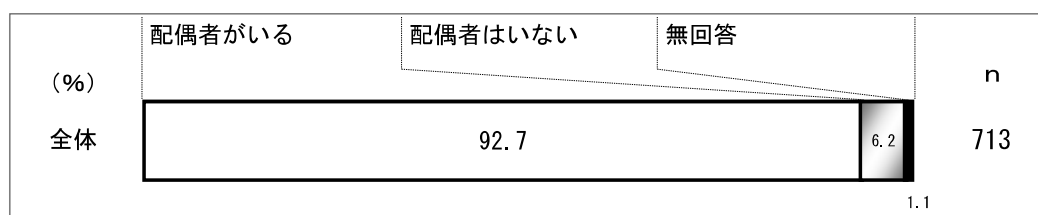
■調査対象者の年齢■



■調査対象者からみた回答者との関係■



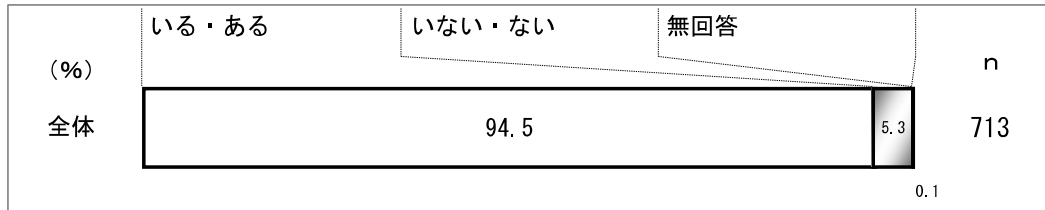
■回答者の配偶関係■



2. 子育てに関する相談先の有無

子育てに関する相談先があるかたずねたところ、「いる・ある」が9割強を占めている一方で、5%程度の人が「いない・ない」と回答しています。

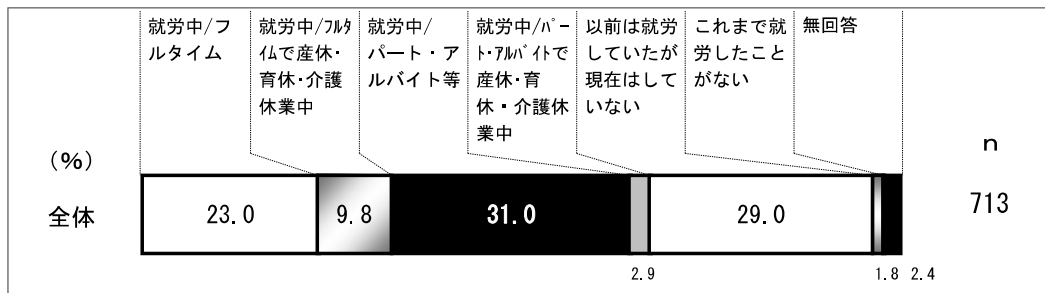
■子育てに関する相談先の有無■



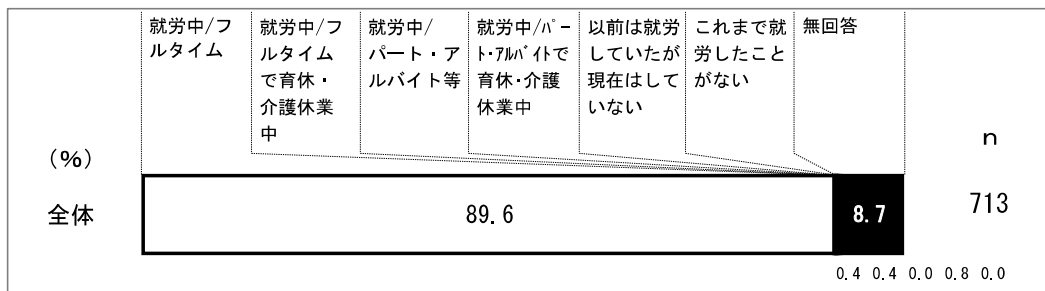
3. 保護者の就労状況

母親の就労状況については、「就労中/パート・アルバイト等」が3割強、「就労中/フルタイム」が2割強を占めています。

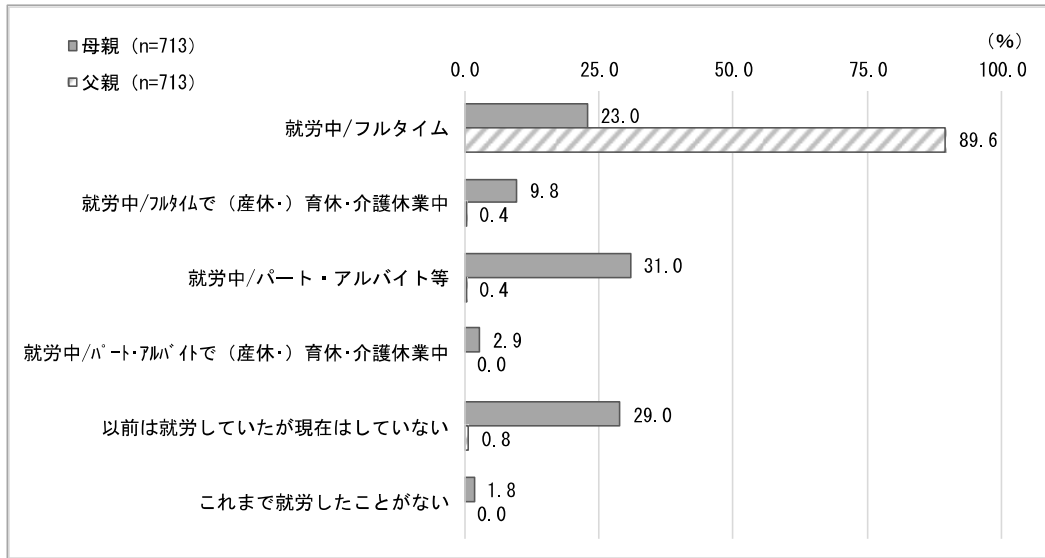
■母親の就労状況■



■父親の就労状況■



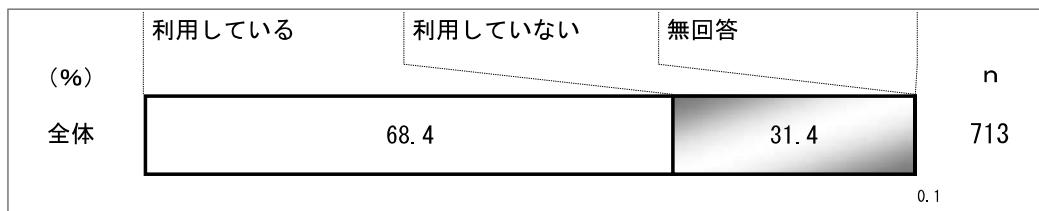
■保護者の就労状況■



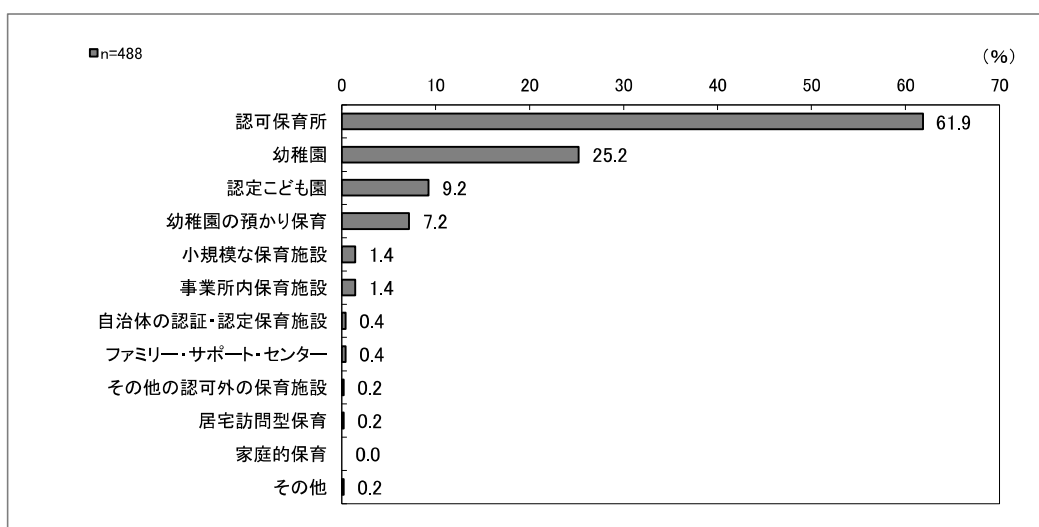
4. 定期的な教育・保育事業の利用

定期的な教育・保育事業の利用については、「利用している」が7割弱を占めています。

■定期的な教育・保育事業を利用しているか■

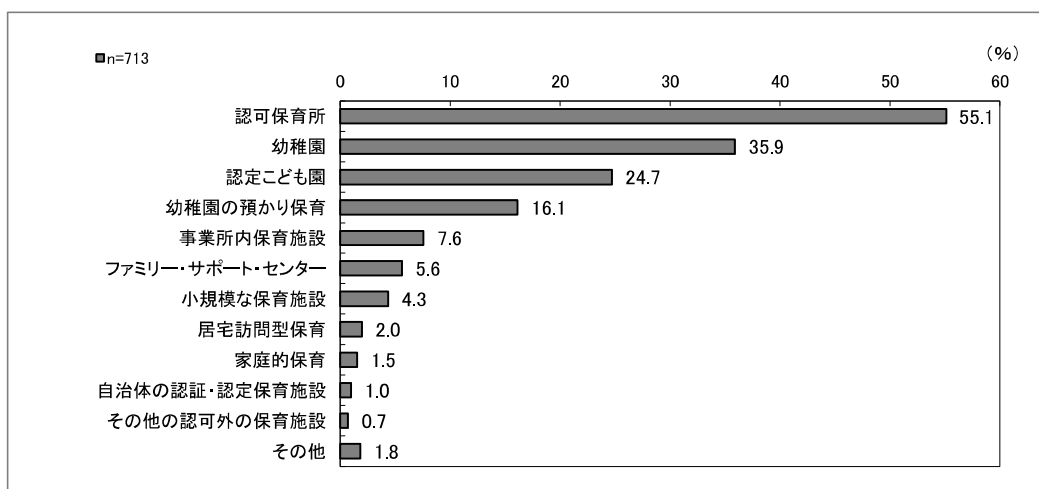


■定期的にご利用している事業（全体／複数回答）■



定期的にご利用したい事業についてたずねたところ、「認可保育所」が最も多く、次いで「幼稚園」、「認定こども園」などとなっています。

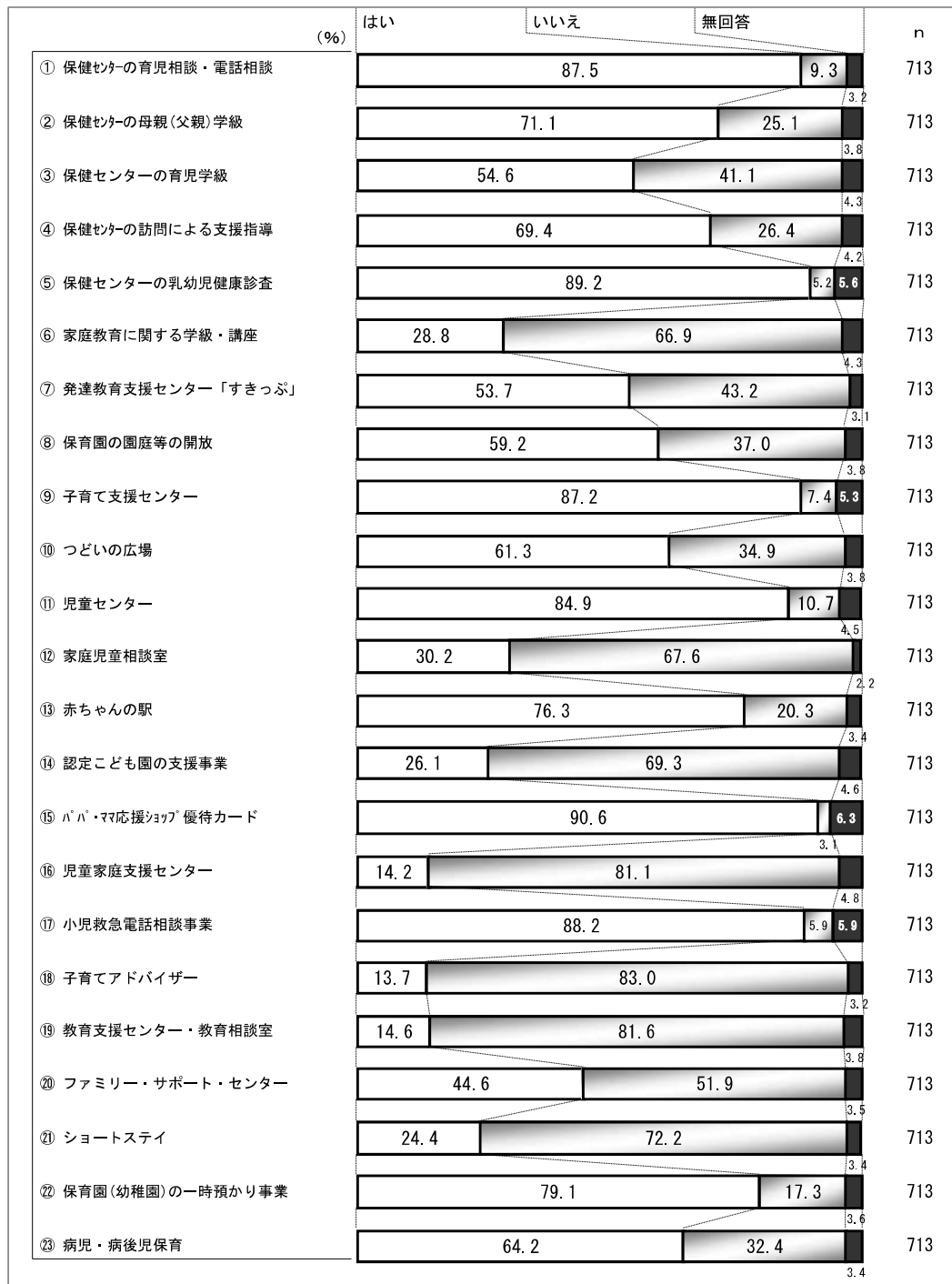
■定期的にご利用したい事業（全体／複数回答）■



5. 子育て支援サービスの認知度・今後の利用希望

子育て支援サービスの認知度についてたずねたところ、「⑮パパ・ママ応援ショップ優待カード」(90.6%)、「⑤保健センターの乳幼児健康診査」(89.2%)、「⑰小児救急電話相談事業」(88.2%)、「①保健センターの育児相談・電話相談」(87.5%)、「⑨子育て支援センター」(87.2%) などでは「はい」(知っている)が8割以上を占めています。

■子育て支援サービスの認知度■



子育て支援サービスの今後の利用希望についてたずねたところ、「はい」(利用したい)の割合が比較的高いのは、「⑮パパ・ママ応援ショップ優待カード」(86.8%)、「⑰小児救急電話相談事業」(79.9%)、「⑤保健センターの乳幼児健康診査」(67.5%)、「⑪児童センター」(64.5%)などとなっています。

■子育て支援サービスの今後の利用希望■

| (%) | はい | いいえ | 無回答 | n |
|---------------------|------|------|------|-----|
| ① 保健センターの育児相談・電話相談 | 51.6 | 38.7 | 9.7 | 713 |
| ② 保健センターの母親(父親)学級 | 30.4 | 57.9 | 11.6 | 713 |
| ③ 保健センターの育児学級 | 35.1 | 53.0 | 11.9 | 713 |
| ④ 保健センターの訪問による支援指導 | 31.8 | 56.4 | 11.8 | 713 |
| ⑤ 保健センターの乳幼児健康診査 | 67.5 | 20.3 | 12.2 | 713 |
| ⑥ 家庭教育に関する学級・講座 | 37.9 | 49.8 | 12.3 | 713 |
| ⑦ 発達教育支援センター「すきっぷ」 | 27.1 | 61.0 | 11.9 | 713 |
| ⑧ 保育園の園庭等の開放 | 47.3 | 42.2 | 10.5 | 713 |
| ⑨ 子育て支援センター | 49.6 | 38.6 | 11.8 | 713 |
| ⑩ つどいの広場 | 40.4 | 47.7 | 11.9 | 713 |
| ⑪ 児童センター | 64.5 | 25.5 | 10.0 | 713 |
| ⑫ 家庭児童相談室 | 28.3 | 60.7 | 10.9 | 713 |
| ⑬ 赤ちゃんの駅 | 51.3 | 38.4 | 10.2 | 713 |
| ⑭ 認定こども園の支援事業 | 30.2 | 55.8 | 14.0 | 713 |
| ⑮ パパ・ママ応援ショップ 優待カード | 86.8 | 2.2 | 10.9 | 713 |
| ⑯ 児童家庭支援センター | 25.7 | 60.0 | 14.3 | 713 |
| ⑰ 小児救急電話相談事業 | 79.9 | 9.4 | 10.7 | 713 |
| ⑱ 子育てアドバイザー | 40.8 | 48.2 | 10.9 | 713 |
| ⑲ 教育支援センター・教育相談室 | 37.3 | 51.1 | 11.6 | 713 |
| ⑳ ファミリー・サポート・センター | 35.3 | 53.4 | 11.2 | 713 |
| ㉑ ショートステイ | 24.0 | 65.2 | 10.8 | 713 |
| ㉒ 保育園(幼稚園)の一時預かり事業 | 47.4 | 42.4 | 10.2 | 713 |
| ㉓ 病児・病後児保育 | 50.1 | 40.1 | 9.8 | 713 |

6. 放課後の時間の過ごし方

低学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所については、「放課後児童クラブ」が最も多く、次いで「自宅」、「習い事」の順になっています。居住地区別にみると、「本庄南中学校区」以外では「自宅」が第1位となっています。

■低学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所■

(全体・居住地区－上位第3位／複数回答)

(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|-------------|---------------------|------------------|-------------|
| 全体 | | 放課後児童クラブ 48.3 | 自宅 46.9 | 習い事 38.4 |
| 居住地区 | 本庄東 中学校区 | 自宅 52.2 | 放課後児童クラブ 50.0 | 習い事 32.6 |
| | 本庄西 中学校区 | 自宅 53.3 | 放課後児童クラブ 50.0 | 習い事 46.7 |
| | 本庄南 中学校区 | 放課後児童クラブ 48.8 | 自宅／習い事 41.9 | |
| | 児玉 中学校区 | 自宅／放課後児童クラブ 45.8 | | 習い事 33.3 |

高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所については、「自宅」が第1位となっており、次いで「習い事」、「放課後児童クラブ」の順になっています。放課後児童クラブのニーズは高学年時よりも低学年時の方が高いことがうかがえます。

■高学年時に放課後の時間を過ごさせたい場所■

(全体・居住地区－上位第3位／複数回答)

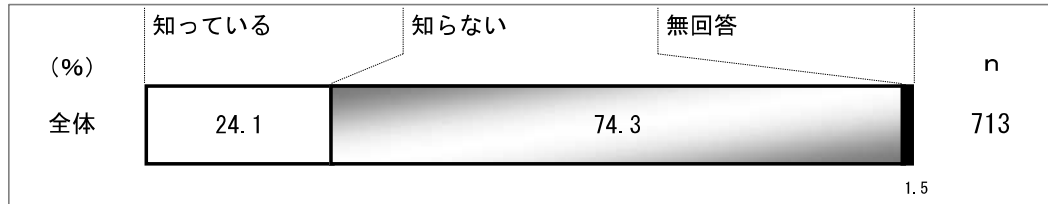
(単位：%)

| | | 第1位 | 第2位 | 第3位 |
|------|-------------|-------------|-------------|------------------|
| 全体 | | 自宅 62.6 | 習い事 53.6 | 放課後児童クラブ 28.4 |
| 居住地区 | 本庄東 中学校区 | 自宅 65.2 | 習い事 52.2 | 放課後児童クラブ 28.3 |
| | 本庄西 中学校区 | 自宅 70.0 | 習い事 60.0 | 放課後児童クラブ 30.0 |
| | 本庄南 中学校区 | 習い事 59.3 | 自宅 57.0 | 放課後児童クラブ 31.4 |
| | 児玉 中学校区 | 自宅 64.6 | 習い事 41.7 | 放課後児童クラブ 22.9 |

7. 子育て世代包括支援について

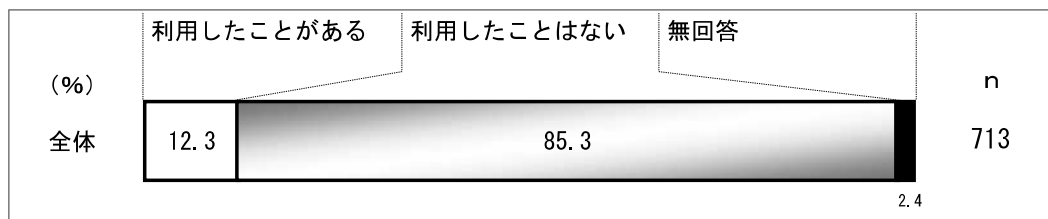
市が進めている子育て世代包括支援の取り組みを知っているかたずねたところ、「知らない」が7割強を占めており、認知度の向上に向けた取り組みの必要性が高いことがうかがえます。

■子育て世代包括支援の取り組みを知っているか■



子育て世代包括支援センターを利用したことがあるかたずねたところ、「利用したことはない」が9割強を占めており、「利用したことがある」は1割強にとどまっています。

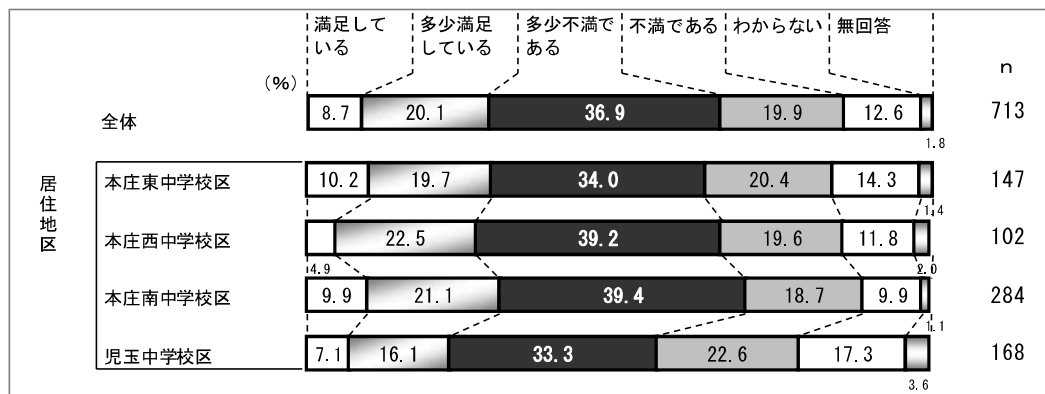
■子育て世代包括支援センターを利用したことがあるか■



8. 本庄市の公園について

市内の公園に満足しているかたずねたところ、「満足している」(8.7%)と「多少満足している」(20.1%)を合わせた“満足している”は28.8%、「多少不満である」(36.9%)、「不満である」(19.9%)を合わせた“不満である”は56.8%となっており、“不満である”が“満足している”を大きく上回っています。

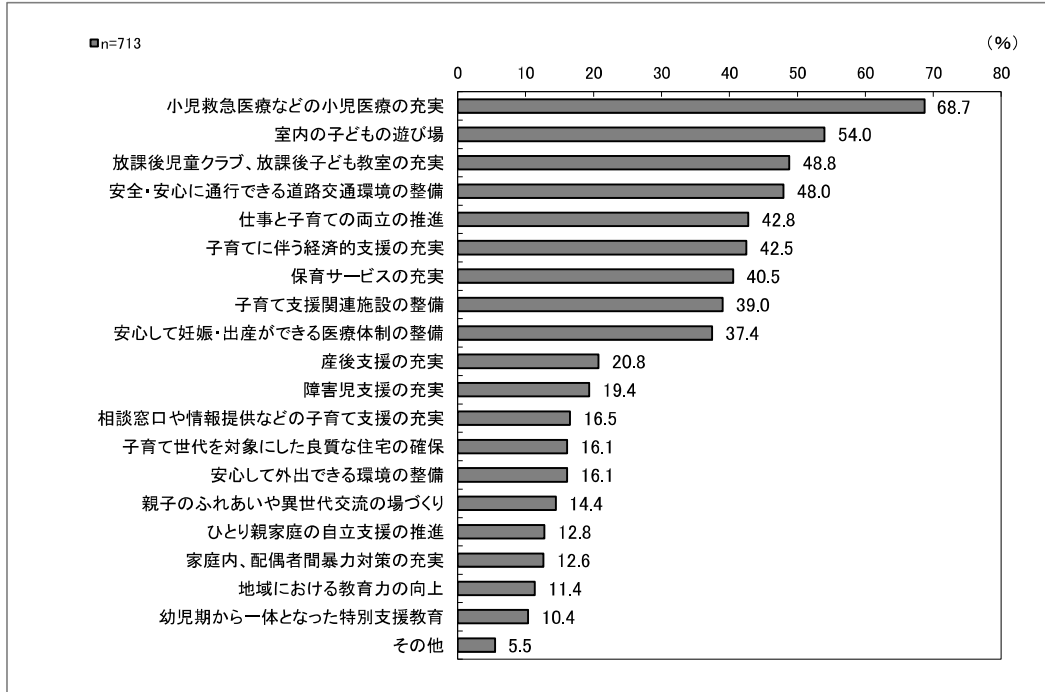
■市内の公園に満足しているか■



9. 市が重点的に取り組む必要性の高い施策

市が重点的に取り組む必要性の高い施策については、「小児救急医療などの小児医療の充実」が最も多く、次いで「室内の子どもの遊び場」や「放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実」などとなっています。

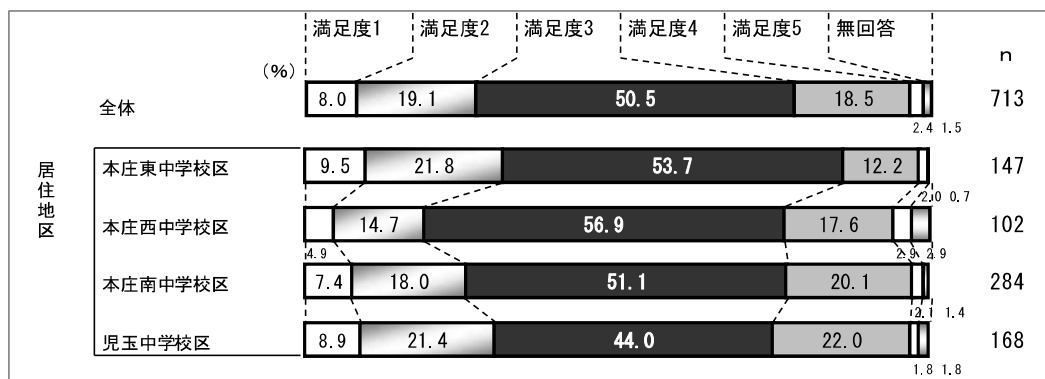
■市が重点的に取り組む必要性が高い施策（全体／複数回答）■



10. 居住地域における子育て環境や支援への満足度

居住地域における子育て環境や支援への満足度についてたずねたところ、中間値である「満足度3」が50.5%となっています。中間値よりも高い「満足度4」は18.5%、「満足度5」は2.4%となっており、これらを合わせた“満足”は20.9%となっています。一方で、「満足度1」は8.0%、「満足度2」は19.1%となっており、これらを合わせた“不満”は27.1%となっています。

■居住地域における子育て環境や支援への満足度■

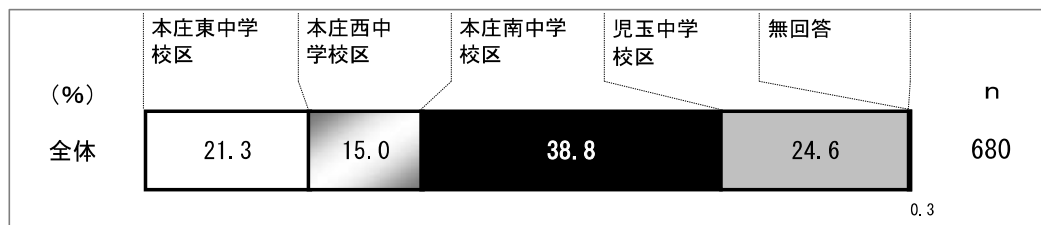


(2) 小学生児童

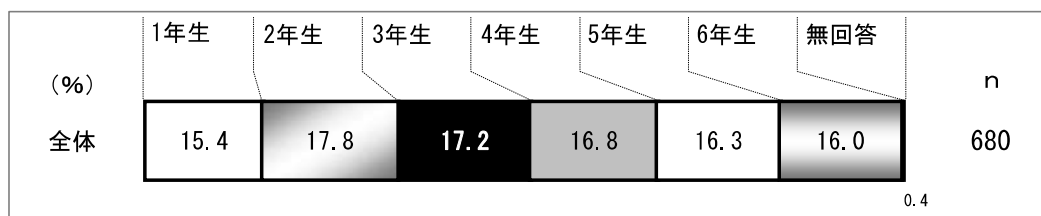
1. 回答者の属性

回答者の主な属性は以下のとおり。「本庄南中学校区」に居住する回答者が多くなっています。

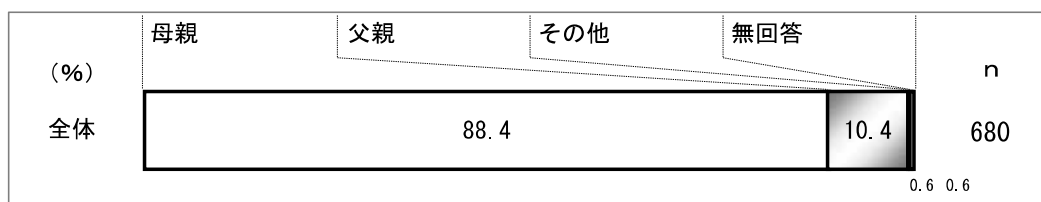
■回答者の居住地区（中学校区）■



■調査対象者の学年■



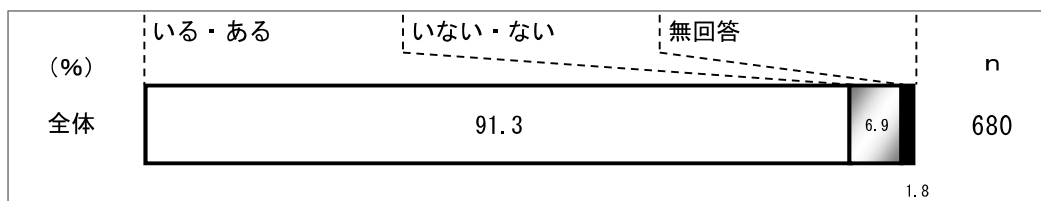
■調査対象者からみた回答者との関係■



2. 子育てに関する相談先の有無

子育てに関する相談先があるかたずねたところ、「いる・ある」が9割以上を占めていますが、7%程度が「いない・ない」と回答しています。

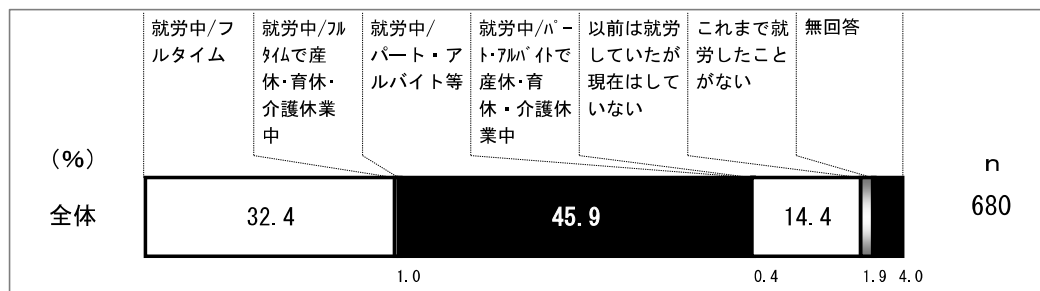
■子育てに関する相談先の有無■



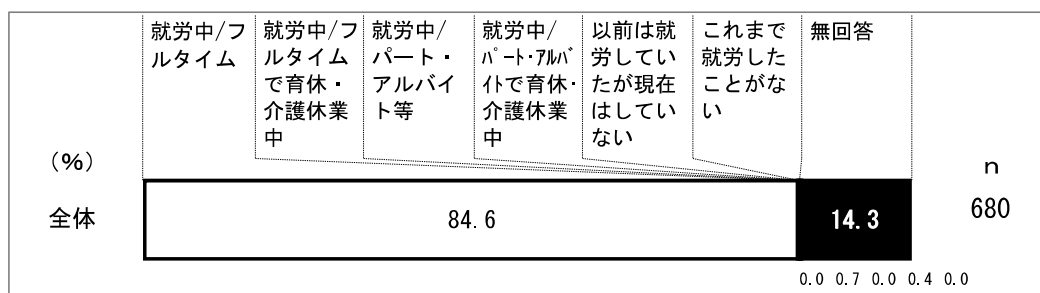
3. 保護者の就労状況

母親の就労状況については、「就労中/パート・アルバイト等」が5割弱、「就労中/フルタイム」が3割強を占めており、就学前児童と比べて就労している母親の割合が高くなっています。

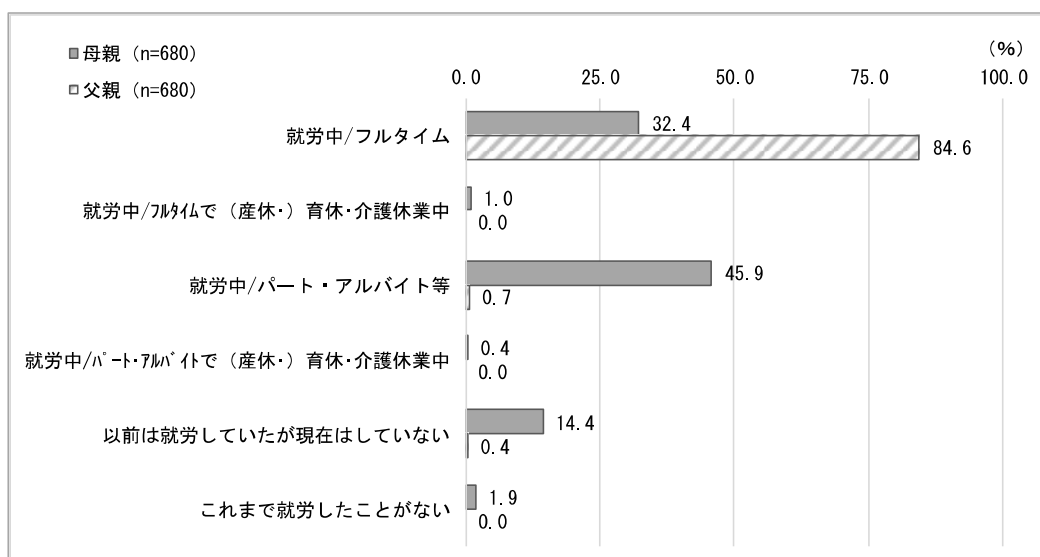
■母親の就労状況■



■父親の就労状況■



■保護者の就労状況■



4. 子育て支援サービスの認知度・今後の利用希望

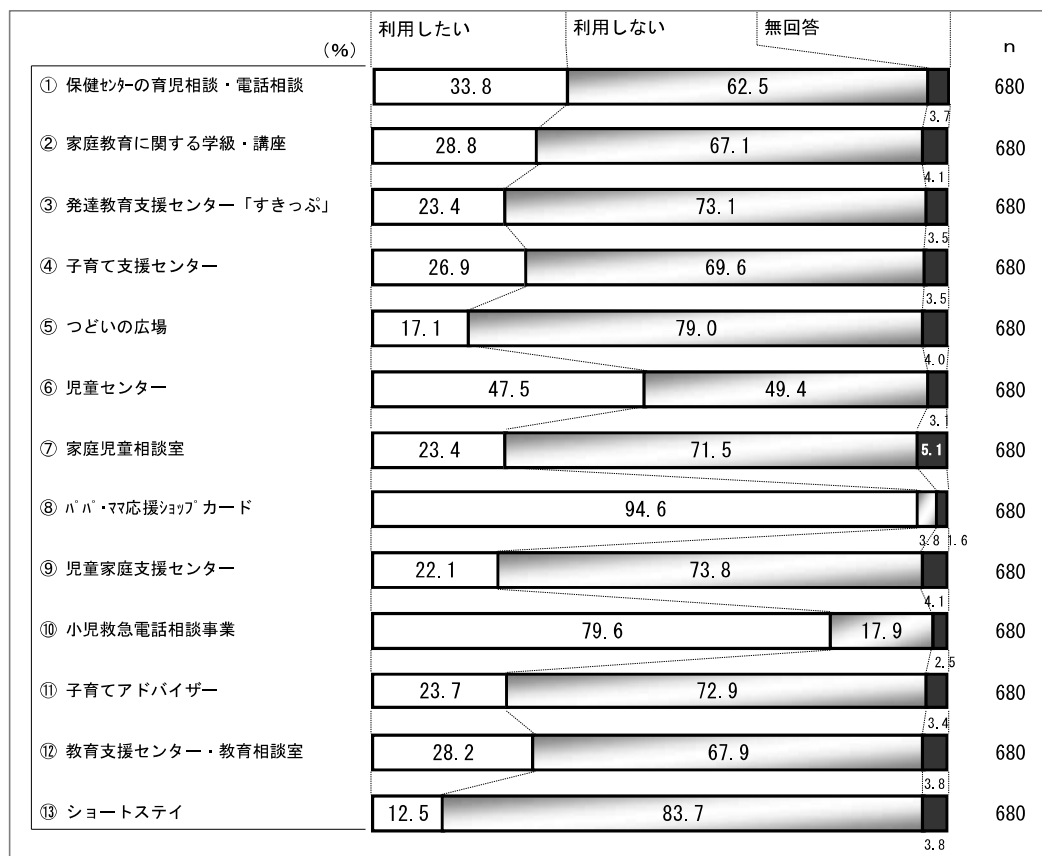
子育て支援サービスの認知度についてたずねたところ、「⑮パパ・ママ応援ショップ優待カード」(92.4%)、「⑤保健センターの乳幼児健康診査」(86.8%)、「⑰小児救急電話相談事業」(84.1%) などでは、「はい」(知っている)の割合が8割以上となっています。

■子育て支援サービスの認知度■

| | (%) | | | n |
|--------------------|------|------|-----|-----|
| | はい | いいえ | 無回答 | |
| ① 保健センターの育児相談・電話相談 | 81.5 | 14.4 | 4.1 | 680 |
| ② 保健センターの母親(父親)学級 | 71.6 | 23.2 | 5.1 | 680 |
| ③ 保健センターの育児学級 | 57.9 | 36.3 | 5.7 | 680 |
| ④ 保健センターの訪問による支援指導 | 62.8 | 32.5 | 4.7 | 680 |
| ⑤ 保健センターの乳幼児健康診査 | 86.8 | 7.2 | 6.0 | 680 |
| ⑥ 家庭教育に関する学級・講座 | 38.8 | 55.7 | 5.4 | 680 |
| ⑦ 発達教育支援センター「すきっぷ」 | 67.8 | 27.8 | 4.4 | 680 |
| ⑧ 保育園の園庭等の開放 | 50.6 | 44.4 | 5.0 | 680 |
| ⑨ 子育て支援センター | 80.1 | 14.9 | 5.0 | 680 |
| ⑩ つどいの広場 | 47.9 | 47.2 | 4.9 | 680 |
| ⑪ 児童センター | 82.6 | 12.1 | 5.3 | 680 |
| ⑫ 家庭児童相談室 | 34.0 | 60.9 | 5.1 | 680 |
| ⑬ 赤ちゃんの駅 | 63.2 | 32.2 | 4.6 | 680 |
| ⑭ 認定こども園の支援事業 | 25.4 | 70.1 | 4.4 | 680 |
| ⑮ パパ・ママ応援ショップ優待カード | 92.4 | 1.9 | 5.7 | 680 |
| ⑯ 児童家庭支援センター | 17.4 | 78.5 | 4.1 | 680 |
| ⑰ 小児救急電話相談事業 | 84.1 | 10.0 | 5.9 | 680 |
| ⑱ 子育てアドバイザー | 18.1 | 77.9 | 4.0 | 680 |
| ⑲ 教育支援センター・教育相談室 | 27.9 | 68.1 | 4.0 | 680 |
| ⑳ ファミリー・サポート・センター | 53.2 | 42.6 | 4.1 | 680 |
| ㉑ ショートステイ | 17.1 | 78.7 | 4.3 | 680 |
| ㉒ 保育園(幼稚園)の一時預かり事業 | 66.5 | 29.0 | 4.6 | 680 |

利用したいと思うサービスについてたずねたところ、「⑧パパ・ママ応援ショップカード」では「利用したい」が94.6%、「⑩小児救急電話相談事業」では「利用したい」が79.6%と、他の項目に比べて利用意向が高くなっています。

■子育て支援サービスの今後の利用希望■

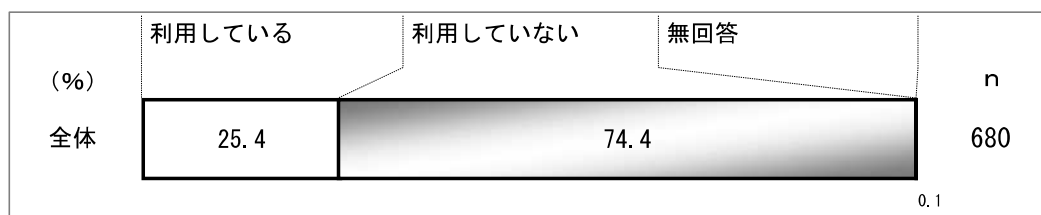


5. 放課後の時間の過ごし方

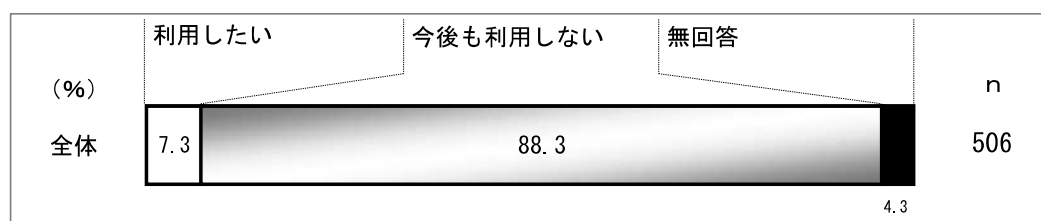
放課後児童クラブ（学童保育）を利用しているかたずねたところ、「利用していない」が7割強、「利用している」が3割弱となっています。

また、「利用していない」と回答した人（506名）に対し、今後放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいかたずねたところ、「今後も利用しない」が9割弱となっており、「利用したい」は1割未満となっています。

■放課後児童クラブ（学童保育）を利用しているか■



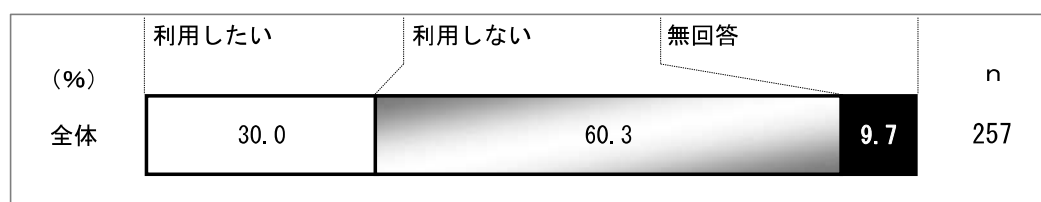
■今後放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいか■



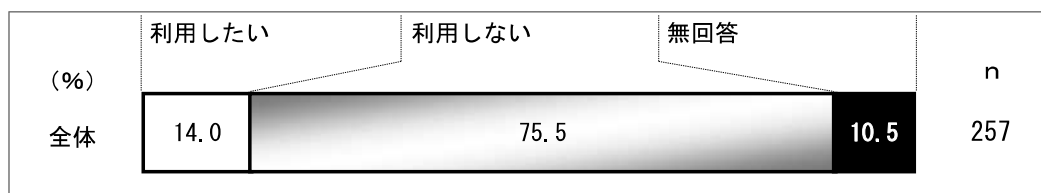
また、土曜日の放課後児童クラブの利用希望についてたずねたところ、「利用しない」は6割強、「利用したい」は3割となっています。

日曜日・祝日の利用希望については、「利用しない」が8割弱を占めており、「利用したい」は1割台半ばとなっています。

■土曜日の放課後児童クラブの利用希望■

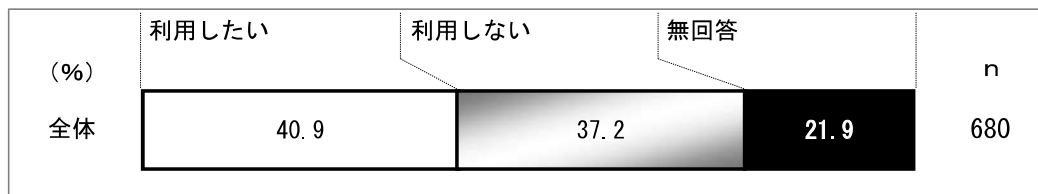


■日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望■



長期休暇期間中については、「利用したい」が4割強、「利用しない」が4割弱となっています。

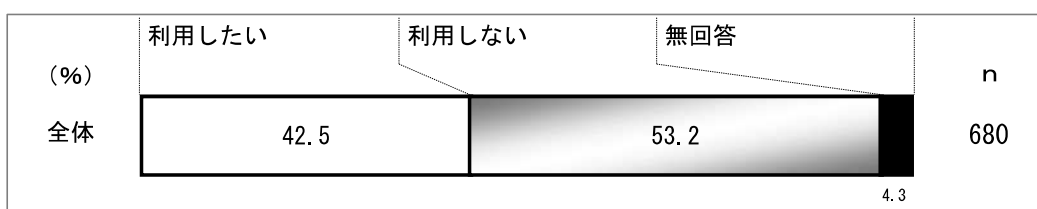
■長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望■



6. 放課後子ども教室の利用希望

放課後子ども教室の利用希望についてたずねたところ、「利用しない」が5割強、「利用したい」が4割強となっています。

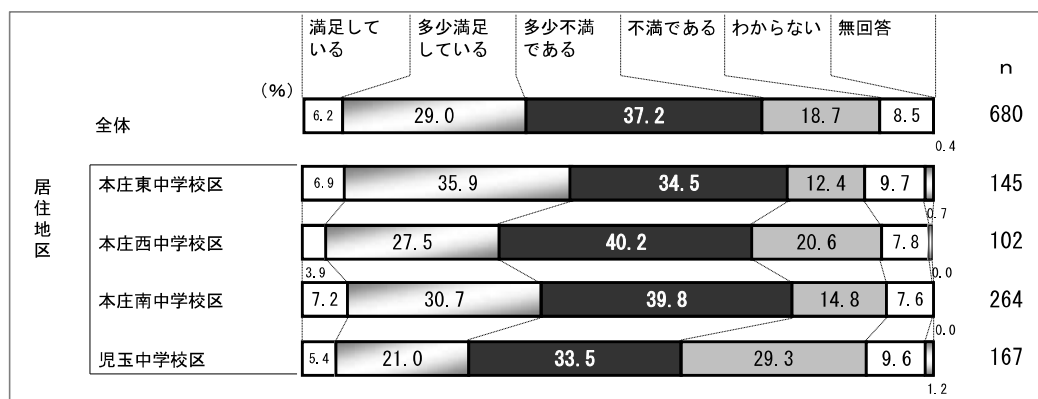
■放課後子ども教室の利用希望■



7. 本庄市の公園について

市内の公園に満足しているかたずねたところ、「満足している」(6.2%)と「多少満足している」(29.0%)を合わせた“満足している”が35.2%、「多少不満である」(37.2%)と「不満である」(18.7%)を合わせた“不満である”が55.9%となっており、“不満である”が“満足している”を大きく上回っています。

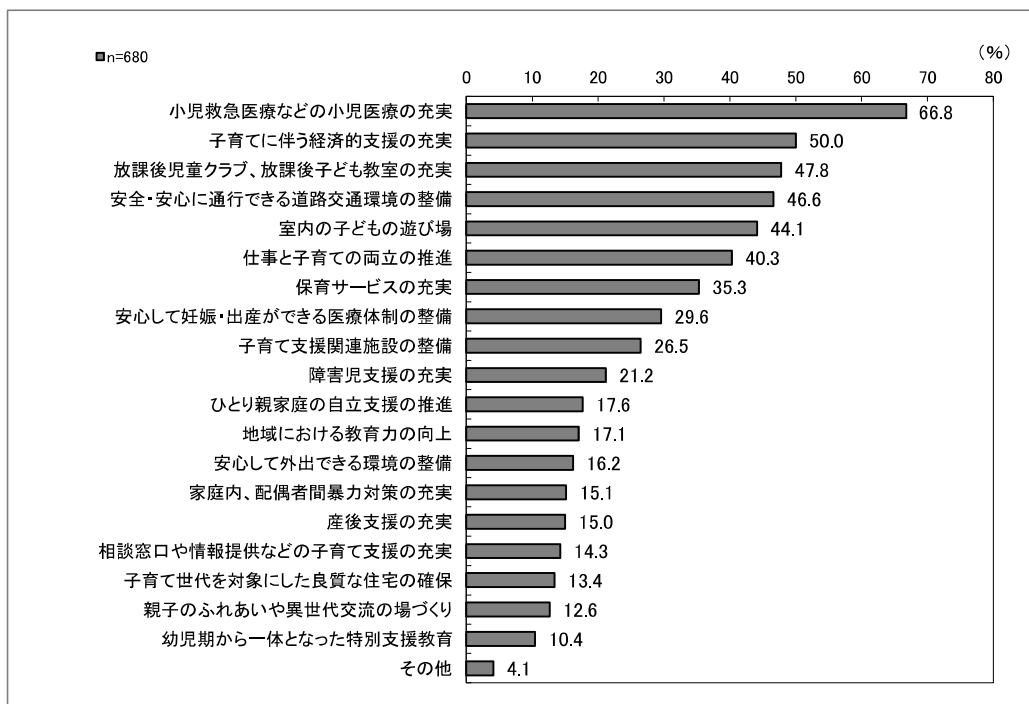
■市内の公園に満足しているか■



8. 市が重点的に取り組む必要性の高い施策

市が重点的に取り組む必要性の高い施策については、就学前児童と同様、「小児救急医療などの小児医療の充実」が最も多くなっています。次いで「子育てに伴う経済的支援の充実」や「放課後児童クラブ、放課後子ども教室の充実」などとなっています。

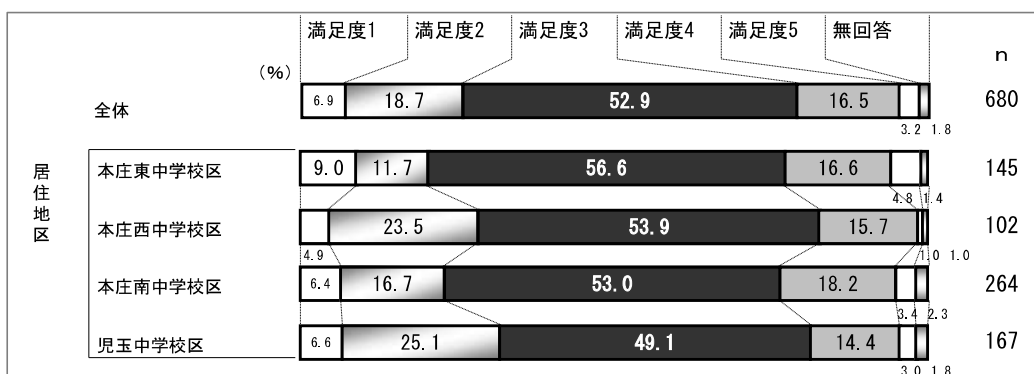
■市が重点的に取り組む必要性の高い施策（全体／複数回答）■



9. 居住地域における子育て環境や支援への満足度

居住地域における子育て環境や支援への満足度についてたずねたところ、中間値である「満足度3」が52.9%となっています。中央値より高い「満足度4」は16.5%、「満足度5」は3.2%となっており、これらを合わせた“満足”は19.7%となっています。一方で、「満足度1」は6.9%、「満足度2」は18.7%となっており、これらを合わせた“不満”は25.6%となっています。

■居住地域における子育て環境や支援への満足度■



第3節 団体調査の結果（概要）

1. 児童虐待について

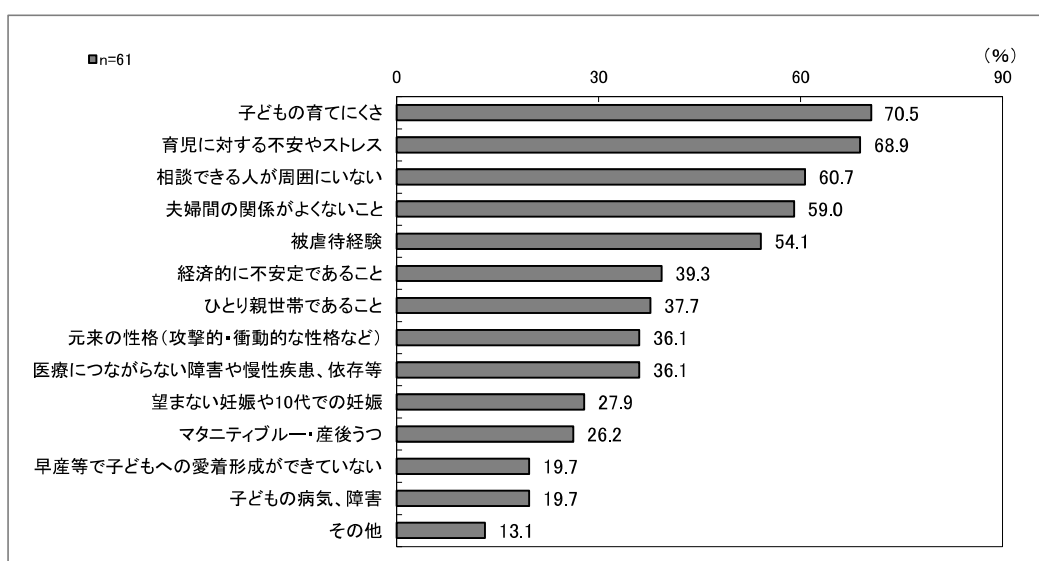
児童虐待が疑われるケースに遭遇したことがあるかたずねたところ、「遭遇したことがある」が57.4%となっており、半数以上の団体が「遭遇したことがある」と回答しています。

■児童虐待が疑われるケースに遭遇したことがあるか■

| (%) | 遭遇したことがある | 遭遇したことはない | 無回答 | n |
|-----|-----------|-----------|-----|----|
| 全体 | 57.4 | 42.6 | 0.0 | 61 |

児童虐待の要因については、「子どもの育てにくさ」(70.5%)が最も多く、次いで「育児に対する不安やストレス」(68.9%)、「相談できる人が周囲にいない」(60.7%)などとなっています。周囲からのサポートが虐待防止には重要であることがうかがえます。

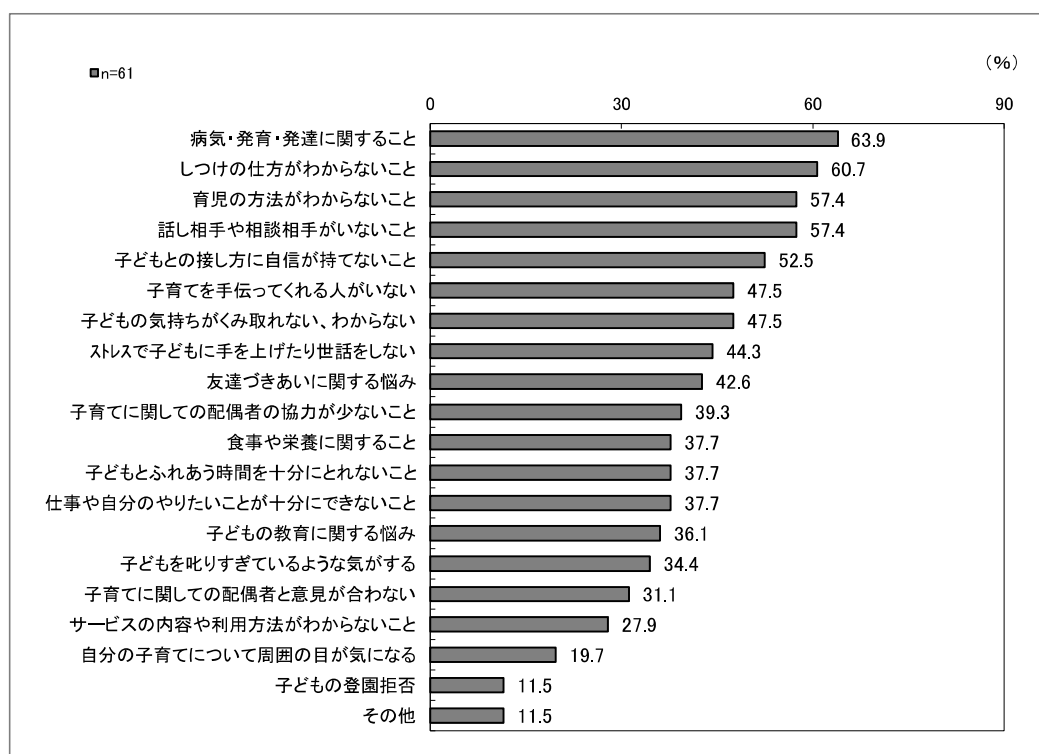
■児童虐待が発生する要因■



2. 保護者の悩みなど

保護者が抱える悩みや問題については、「病気・発育・発達に関すること」(63.9%)が最も多く、次いで「しつけの仕方がわからないこと」(60.7%)、「育児の方法がわからないこと」・「話し相手や相談相手がいないこと」(同率 57.4%) などとなっています。核家族化や地域とのつながりの希薄化により、子どもとの接点が少なくなり、子育てに悩む保護者が少なくないことがうかがえます。

■保護者が抱える悩みや問題■



保護者が子育てをするにあたって地域に求めることについては、「子育ての相談や情報交換をしたい」と「緊急時に子どもを預かってほしい」が最も多くなっています。

■保護者が子育てをするにあたって地域に求めること■

